



横浜で活動するアーティストやクリエイターを支援 2020年度 アーツコミッション・ヨコハマの助成募集開始！

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、文化芸術のもつ創造性を生かしたまちづくり「文化芸術創造都市・横浜」の推進のため、アーツコミッション・ヨコハマ (ACY) の一環として、アーティスト、クリエイターを支援するプログラムを行っています。この度、2020年度の助成募集を開始します。



展示風景/「修復のモニュメント」AIMヒア プロジェクト | 渡辺 篤
(BankART SILK, 2020年) 写真: 井上圭佑

横浜から世界へ羽ばたく、次世代アーティストを支援 【U39 アーティスト・フェローシップ助成】

(旧助成名：若手芸術家支援助成クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ)

- 内容：横浜から世界に芸術文化を発信する39歳以下の美術、舞台芸術分野のアーティストにおけるキャリア形成を目的に年間の活動を支援。
- 申請期間：2020年3月9日(月)～4月20日(月)必着
- 交付金額：上限100万円

芸術と社会の関係から生まれる創作活動を支援 【クリエイティブ・インクルージョン活動助成】

- 内容：アーティスト、クリエイター等が、社会包摂の視点を有しながら現代の表現を追求していく活動を支援。
- 申請期間：2020年3月9日(月)～4月20日(月)必着
- 交付金額：上限200万円(継続申請の場合、総予算の1/2以内)

クリエイターが企業や大学等と連携して新たな商品やサービスなどを開発する取組を支援 【ヨコハマ創造産業振興助成】

- 内容：横浜市内のクリエイターと企業や大学等が連携し、横浜の新たな魅力に繋がる商品やサービスを開発する取組、見本市の出展といった販路拡大に向けたプロモーション活動などを支援。
- 申請期間：2020年3月9日(月)～4月20日(月)必着
- 交付金額：上限200万円/件(対象経費の1/2以内)

革新的な取組を行うクリエイティブ企業の関内・関外地区での拠点開設を支援 【クリエイターのための事務所等開設支援助成】

- 内容：新たに関内・関外地区に事務所を開設する横浜市外のクリエイティブ企業の移転を支援。
- 申請期間：2020年4月1日(水)から随時受付。2021年1月29日(金)まで。
- 交付金額：上限200万円/件(対象経費の1/2以内)

*詳しい募集要項については、本日公開されるホームページをご確認ください。但し事務所等開設支援助成は4月1日から掲示します。2枚目以降に2019年度の採択内容を掲載しています。

お問い合わせ先 *本日は、17:00まで在席しております。

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 広報・ACYグループ tel. 045-221-0212

グループ長：伊東亜紀子

担当：里見有祐(フェローシップ・事務所等開設) / 園田泰士(インクルージョン) / 杉崎栄介(創造産業振興)



ARTS COMMISSION YOKOHAMA

(参考資料) 【2019年度 交付者】(50音順)

【旧若手芸術家支援助成クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ:採択者、プロフィールは申請時のものです】

氏名	神里 雄大 (カミサト ユウダイ) (継続)	交付金額	800,000 円
プロフィール	作家、舞台演出家。1982年ペルー生まれ。世界各地を訪ね歩き、出会った人々から聞いた話を元に作品を構成するという執筆スタイルを採用している。2006年「しっぽをつかまれた欲望」(作:パブロ=ピカソ)で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2018年「バルバライソの長い坂をくだる話」で第62回岸田國士戯曲賞受賞。ヨーロッパやオーストラリアなど海外公演多数。世界各地で戯曲が上演されている。2016年～2017年まで文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてアルゼンチン・ブエノスアイレスに滞在した。		
氏名	玄 宇民(ゲン ウミン) (継続)	交付金額	800,000 円
プロフィール	アーティスト。東京生まれ。生まれた地を離れた人々のありようと移動の記憶、マイグレーションをテーマに映像作品を制作。近作は戦前の日本に暮らした韓国人女性飛行士の足取りを俳優と共にたどる『未完の旅路への旅』(2017)、香港の離島、韓国の済州島を舞台にした『逃島記(とうとうき)』(2019～)など。2016年以降ソウル独立映画祭(韓国)、Taiwan International Video Art Exhibition(台湾)、ディアスポラ映画祭(韓国)で作品上映。東京大学文学部美学芸術学専修卒業。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻博士後期課程修了。		
氏名	高山 玲子(タカヤマ レイコ) (新規)	交付金額	400,000 円
プロフィール	アーティスト・俳優・体メンテナンス体操講師。京都府出身。俳優として数多くの舞台、映像、パフォーマンス作品に出演する。また同時に映像作品、各種メディアを用いたパフォーマンス作品の制作を行う。近年では、境界線(演者/観客/あなた/わたし/あの世/この世)に注視し、これらの見えないラインを、可視化・表象することで起こりうる認識のズレなど、“人の数だけ答えが違うことをみんなで面白がれること”を主軸とした制作活動を行なう。		
氏名	額田 大志 (ヌカタ マサシ) (新規)	交付金額	800,000 円
プロフィール	作曲家・演出家。1992年東京都出身。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科卒業。2013年に8人組バンド・東京塩麴を結成。ブレイクビーツとミニマルミュージックを軸としたサウンドで、これまでに2枚のアルバムをリリース。2018年にFUJI ROCK FESTIVALへ出演。また2016年に演劇カンパニー・ストミックを結成。スコアのように書かれた上演台本や、音楽的とも評されるセリフ回しを特徴とする。クリエイションの根幹で音楽と演劇を接続し、新たな観客/作品を生み出すことを目標に活動を行っている。		
氏名	布施 琳太郎 (フセ リンタロウ) (継続)	交付金額	850,000 円
プロフィール	美術家。1994年生まれ。2017年東京藝術大学美術学部絵画科(油画専攻)卒業。現在は同大学院 後期博士課程 映像研究科(映像メディア学)に在籍。壁画/絵画とインスタレーションの制作をはじめとして、同世代の制作者を広く集めて編纂する展覧会企画や批評などの活動を行っている。主な展覧会企画に「iphone mural(iPhoneの洞窟壁画)」(2016)、「新しい孤独」(2017)、「ソラリスの酒場」(2018)、「孤独の地図」(2018)など。他、参加グループ展多数。「第16回美術手帖芸術評論募集」に「新しい孤独」で入選。		
氏名	本間 メイ(ホンマ メイ) (新規)	交付金額	800,000 円
プロフィール	アーティスト。1985年東京都生まれ。2011年チェルシー芸術大学大学院ファインアーツ科修了。Back and Forth Collectiveメンバー。インドネシアと日本の歴史的関係の researched を基点に、社会・政治的な問題や多国間における関係性を考察する映像作品やインスタレーションを発表。近年は見過ごされがちな女性に関する歴史を主に扱う。主なグループ展に2018年「つぎはぎの“言葉”(字 ことば kata eweawea)」トーキョーアーツアンドスペース本郷、TERATOTERA 祭り2018など。		
氏名	山形 一生 (ヤマガタ イッセイ) (新規)	交付金額	400,000 円
プロフィール	美術家。東京藝術大学大学院美術研究科絵画修了。インターネット以降における美術、および画像流通とその政治性についてを主題に制作と研究を行う。それらと関連した論考として「水色のぷにぷに - ポストインターネットアート」(Massage, 2019-)、「キャラクターの同一化と引き剥がし」(Vindr vol.6, 2018)など。また、主な展示として「MASAMUNE」website, 2018、「Surfin'」情報非公開, 2017など。主な受賞として2018年に「映像作家100 - NEWAWARDS」にて大賞、2016年「21th Campus genius award」にて谷口暁彦評価員賞など。		

【クリエイティブ・インクルージョン活動助成:採択事業、名称・内容は申請時のものです】

事業名	アート・クリエイティブによる病院内 コミュニケーション増進プロジェクト(新規)	交付金額	1,100,000 円
主催	アートマネジメントオフィス アホイ！(代表:塚田信郎)		
内容	アートマネジメントを行う塚田氏が、横浜市内の病院で、入院中の子ども達やその家族などを対象に、アーティスト・クリエイターと協働しアートプログラムを実施する。その体験を通して病院内外のコミュニケーションを活性化させ、病院をより過ごしやすい空間に変え、人々を明るく元気にするプロジェクトを行う。		

事業名	寿町で子どもたちと山車まつりをしたいっ (新規)	交付金額	1,250,000 円
主催	竹本 真紀		
内容	美術家の竹本氏が、寿町で子どもや地域の人々と一緒に新たな祭りをつくるアートプロジェクト。保育所、学童や近隣の小学校の子どもたちと山車をつくるワークショップを行い、寿町内やその周辺の地域で活動する団体との関わりも生み出す。準備から成果発表までが一つの連続したアートプロジェクト。		

事業名	修復のモニュメント(継続)	交付金額	800,000 円
主催	渡辺 篤		
内容	現代美術家の渡辺氏が“開かれた対話”、“再構築と修復”の概念を取り込んだ対面型制作を行う。ひきこもり当事者・経験者と共に創作し展示する。社会から孤立した人と接続し、その存在をなきものにしない表現活動を行う事で、これまで社会に対して閉じられ語られてこなかった当事者の視点を「声なき声」として社会に発信していく。		

事業名	広がれ！メッセンジャー事業 (継続)	交付金額	500,000 円
主催	あしおとでつながろう！プロジェクト (申請代表:おどる なつこ)		
内容	横浜市内で、障がいの有無に関わらず、子どもから大人まで参加できるダンスプログラムを行っている団体。過去活動に参加してきた人が、障がいの有無に関わらずダンスの楽しさを伝える「メッセンジャー」として全国を旅する。他地域にダンスプログラムを広げていくとともに、旅での経験を横浜に持ち帰り伝えることで、新たな地域間のネットワークを構築するプロジェクトを行う。		

【ヨコハマ創造産業振興助成 新商品・サービス部門:採択事業、名称・内容は申請時のものです】

申請者名	Yokohama Makers Village(以下 YHV)	交付金額	1,500,000 円
事業名	DESIGNART TOKYO 2019 出展を通じた YMV の国内プロモーション展開		
内容	YMV は、金属の素材にこだわり金属加工の技術力を示すとともに、デザイナーとの協業による金属製品のデザインの可能性を示しながら、金属のソリューションサービスを提供している任意団体。横浜市の中小企業の技術力を国内外に訴求し、付加価値の高い製品を製作・販売する中で、売上の増加及び、それに連動した本業の新規顧客の開拓、ビジネスチャンスの拡大を目標としている。今回、DESIGNART TOKYO 2019(10月東京開催)において、ミラノデザインウィーク 2017-2019 に出品した全作品の展示、セールス、トークイベント、交流会等を行う。		
申請者名	一般社団法人技術発想融合協会	交付金額	1,500,000 円
事業名	texi yokohama プロジェクトの海外展示会出展事業		
内容	『texi yokohama』は、横浜市内の中小企業の高い技術力(technic)とクリエイターのアイデア(idea)を掛け合わせた、横浜市の地域ブランド。町工場＝中小企業の BtoC(エンドユーザー)向けの商品の開発、製造、販売を目的としている。今回、これまで開発してきた商品をアンビエンテ(2020年2月フランクフルト開催)へ出展し、特設WEBを開設、海外への販路拡大を目指す。		
申請者名	有限会社スタジオニブロール	交付金額	1,000,000 円
事業名	HOSPITILE(ホスピタイル)プロジェクト 医療×衣料が生むイノベーション。超消臭・抗菌繊維商品の開発。		
内容	従来の医学は、病気や症状への対処(治療)を目指していたが、医療や健康に関する情報を扱う主体が一般の人々に急速に移りつつある今、病気に至る以前の生活者にコミュニケーションを図る活動の重要性が増している。そこで本プロジェクトは、「医療」と「衣料」を組み合わせ生活の質を上げるための繊維プロダクトを開発・発信をし、主に未病の人々にヘルスケアの概念を伝えることを目的とする。今回、ファッションデザイナーが、横浜市立大学医学部等と連携し、健康的な質の高いライフスタイルを後押しする顧客目線の高品質な商品を開発し、手に取りやすい価格で販売する。消臭タオルの商品からスタートし、抗菌繊維を開発する。		